



南青山 骨董通り開廊記念
はじまり展

 galerie taménaga

ごあいさつ | Introduction

ギャラリーためながは 1969 年に銀座で創業以来、56 年間に亘り数々の美術館の創立に関わると同時に、多くのコレクターの方々のご支持を賜ってまいりました。以前は文化人の集った銀座も今は大きく様変わりしており、半世紀が過ぎたこの機会に心機一転、南青山に本拠地を移す運びとなりました。

この新しい青山の画廊では、一階には現代作家を、二階には近代作家の作品を展示し、様々な作家の作品を常時お楽しみいただける空間と致します。その一方で地下一階にも展示スペースを有するため、常に常設展と企画展を同時に展開することが可能となりました。これはまさに私が長年夢見た画廊の理想像で、このような展示形態での新たな船出を迎えることとなりました。

過去半世紀の間、皆さまのご支持のもと開催致しました展覧会は数百を数えますが、次の半世紀は更により多くの展覧会を企画し、質量ともに今迄以上の展示内容となるよう努めてまいりたく存じます。骨董通りが更なる文化の中心地となることを期待しながら、其の一画でギャラリーためながが皆さまの心にときめく作品を楽しんで頂ける空間となれば幸いです。

新しい時代に向けての始まりと位置付けての心躍る出発となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

爲永 清嗣

目次 | Contents

岩田 壮平	4	-	5
江川 直也	6	-	7
大沢 拓也	8	-	9
大竹 寛子	10	-	11
小津 航	12	-	13
北川 麻衣子	14	-	15
木下 友梨香	16	-	17
木村 佳代子	18	-	19
トム・クリストファー	20	-	21
菅原 健彦	22	-	23
田口 涼一	24	-	25
智内 兄助	26	-	27
チェン・ジャン・ホン	28	-	29
中比良 真子	30	-	31
中村 ケンゴ	32	-	33
藤原 由葵	34	-	35
ロレンツォ・フェルナンデス	36	-	37
村本 真吾	38	-	39
山本 大也	40	-	41
吉川 民仁	42	-	43

岩田 壮平

A black and white portrait of artist Iwata Takahiro. He is a man with shoulder-length wavy hair, wearing thick-rimmed glasses, a white t-shirt, and a patterned scarf. He is smiling and resting his chin on his hand. The background is a blurred outdoor scene with trees and a building.

1978年愛知県生まれ。3歳で華道池坊に入門し14年間学ぶ。金沢美術工芸大学にて日本画を専攻。初期は人物や日常風景を描いていたが次第に花に傾注。鮮烈な色彩と装飾性あふれる大胆な構成で、極めて斬新な花の世界を描き出す。殊に水分を多く含ませる垂らし込みという古典技法で表現された花々は、花卉の一枚一枚に生命の瑞々しい息吹が吹き込まれ、画面は艶やかに華やぐ。幼少より花に親しんだ画家の感性が花の普遍的な美しさをかためとり、抒情豊かな岩田独自の世界を見事に確立させている。2015年に受賞した第6回東山魁夷記念日経日本画大賞展大賞を始め受賞多数。

Sohey IWATA



life of a flower

73 × 117 cm

紙・岩絵具

life of a flower

73 × 117 cm

mineral pigments on paper

江川直也

1988 年埼玉県に生まれる。京都造形芸術大学に美術工芸学科日本画コース卒業。卒業後水墨画や襖絵、屏風に傾注。豊かな自然を伝統技法で表現するため理想郷を求め長野に移り住む。木立の枝の周りに箔を貼りその一部を削り落とす。更にその上に岩絵の具を施す。このような緻密な工程を繰り返すことで、小枝は空に煌めき、葉が透き通る清澄な情景が現れる。画中の自然は美しさをたたえ神々しい空間へと昇華し、人々に落ち着きと安らぎの時を与える。2019 年山種美術館日本画アワードにて奨励賞を受賞している。

Naoya EGAWA



暁月

73 × 91 cm

紙・岩絵具

The Lingering Moon

73 × 91 cm

mineral pigments on paper

大沢 拓也



1979年埼玉県に生まれる。東京藝術大学にて日本画を専攻。都市風景に自然界のモチーフをオーバーラップさせたり水面に揺らぐ樹々の影を描き、その筆から人々の心に溶け込んでいる心象風景を浮かび上がらせる。素材や技術への関心が著しく高く、日本古来の漆芸と日本画技法を組み合わせることで独自の柔らかな色調を創り出し、幻影を見るような心地良い錯覚を見るものに抱かせる。樹脂塗装によるコーティングや人造大理石の建材でもあるテラゾーを用いるなど、新たな技法の探求にも余念がない。代表作の一部は京都リッツカールトンや東京會館、グランドプリンスホテル新高輪、深圳のラッフルズホテルなどの壁面を飾っている。

Takuya OSAWA



campsis

100 × 81 cm

麻紙・岩絵具

campsis

100 × 81 cm

mineral pigments on hemp paper

大竹 寛子



岐阜県に生まれる。東京藝術大学で日本画を専攻。文化庁新進芸術家海外派遣制度でニューヨークに滞在。日本画の伝統的技法である岩絵具や箔、銀泥金泥を用いて表情豊かな色調と質感で優美な夢幻世界を描き出す。モチーフである蝶や花を、流動的な時間の象徴、または心や魂の象徴として捉え、生成、成長、そして消滅へと変容する儚くも美しい命を繊細に表現する。その一方でライブパフォーマンスやファッション、インテリアなど、企業とのコラボレーションを数多く手掛け、日本画のジャンルを超えるその活動は国内外で高い評価を得ている。

Hiroko OTAKE



In the Garden -Ulysses- Vol.1

80 × 100 cm

パネルに紙・岩絵具、銀箔

In the Garden -Ulysses- Vol.1

80 × 100 cm

mineral pigments and silver leaf on paper
mounted on panel

小津 航



1991年東京都に生まれる。東京藝術大学大学院美術研究科 絵画専攻を修了。淡く明るい色彩とシンプルで優しい筆遣いによって表現される作品は、ゆったりとした画面構成とも相まって見る者に癒しと安らぎを与える。西洋と東洋で異なる美的感覚や表現方法に着目をし、両者を掛け合わせることで全く新しい絵画のあり方を模索している。身近なモチーフをアトリエの床上に配置した〈on the ground〉シリーズでは、西洋の静物画において卓上という限られた空間に存在していたモチーフを、日本的なゆったりとした「間」の中に表現することに成功している。2021年にパリで開催された展覧会でさらに好評を博し、国内外から注目を集める期待の若手作家である。

Wataru OZU



Still Life with Golden Fleece and Vessel *Still Life with Golden Fleece and Vessel*

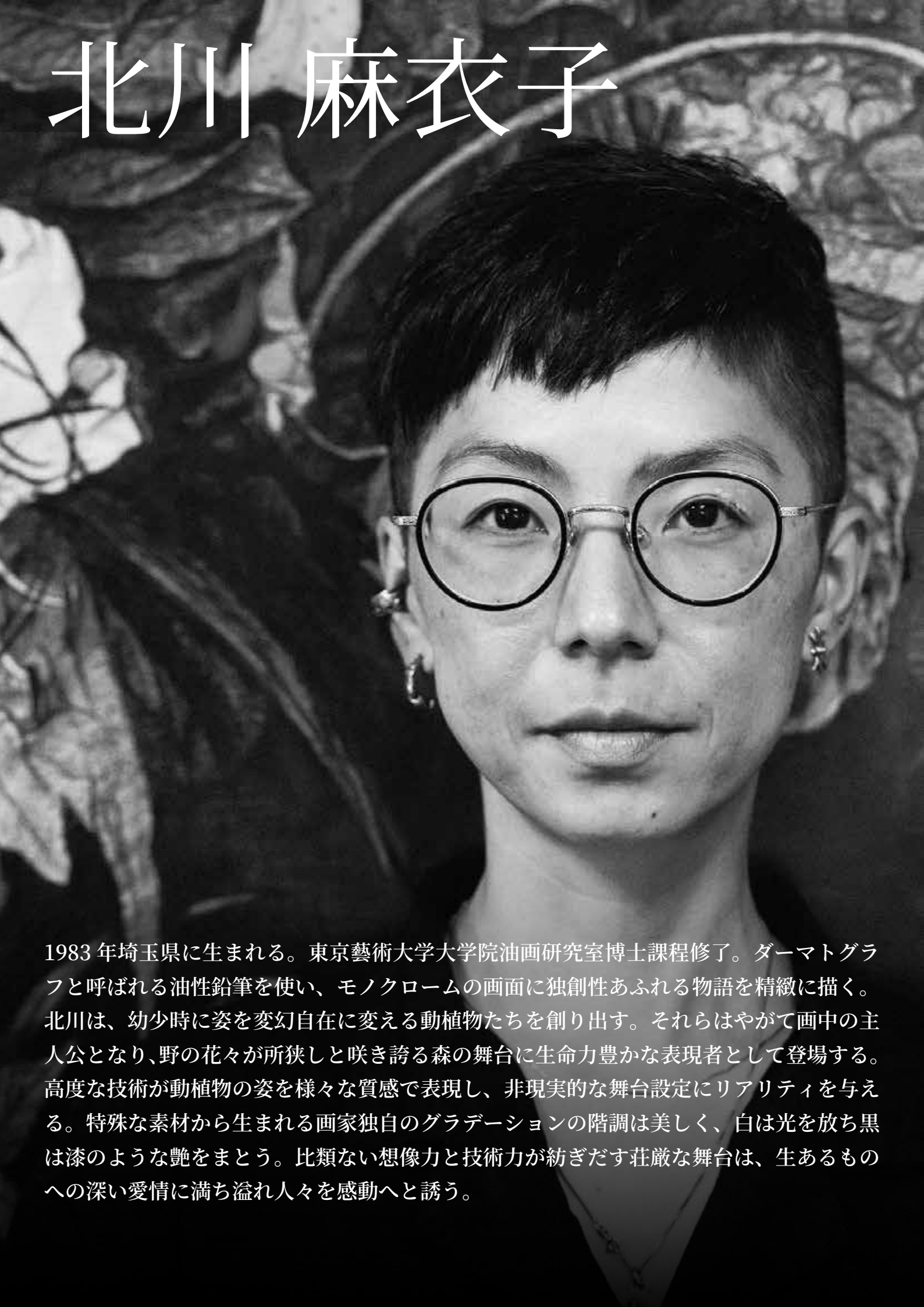
91 × 117 cm

91 × 117 cm

キャンバス・油彩

oil on canvas

北川 麻衣子

A black and white portrait of Asako Kitakawa, a woman with short dark hair and round glasses, looking directly at the camera. She is wearing a dark top and has small hoop earrings. The background is a dark, textured surface with some light-colored, possibly floral or leaf-like patterns.

1983 年埼玉県に生まれる。東京藝術大学大学院油画研究室博士課程修了。ダーマトグラフと呼ばれる油性鉛筆を使い、モノクロームの画面に独創性あふれる物語を精緻に描く。北川は、幼少時に姿を変幻自在に変える動植物たちを創り出す。それらはやがて画中の主人公となり、野の花々が所狭しと咲き誇る森の舞台に生命力豊かな表現者として登場する。高度な技術が動植物の姿を様々な質感で表現し、非現実的な舞台設定にリアリティを与える。特殊な素材から生まれる画家独自のグラデーションの階調は美しく、白は光を放ち黒は漆のような艶をまとう。比類ない想像力と技術力が紡ぎだす荘厳な舞台は、生あるものへの深い愛情に満ち溢れ人々を感動へと誘う。

Maiko KITAGAWA



疾風（はやて）

97 × 130 cm

パネルにケント紙・ダーマトグラフ

Whirlwind

97 × 130 cm

grease pencil on paper mounted on panel

木下 友梨香



1988年佐賀県に生まれる。京都造形芸術大学、武蔵野美術大学にて空間演出デザインを学び、現在は東京を拠点に活動を行っている。

花農家で育った生い立ちを元に、幼少期に見た記憶の中の花や植物を抽象表現した作品を制作。日々生きていく中で霞んでいく視覚的な記憶の印象を絵に落とし込み、過去から現代を表現している。ペンキを使い手で描くスタイルによって植物の動きを表現すると共に、自身の身体を拡張し記憶を再現している。独自の花や植物の表現を通し、自然を目の前にした時のような瞑想を生活の中に提示している。

Yurika KINOSHITA



ユリとチューリップ

80 × 100 cm

キャンバス・水性ペンキ

Lily and Tulip

80 × 100 cm

water-based acrylic paint on canvas



木村 佳代子

1971 年東京都に生まれる。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。植物園などでの取材からフォルムの美しさや面白さを感じる花を選び出し、不必要に美化せず花の持つ存在感を活かし、細い筆を用いて線の重なりで形を描き起こしていく。何層にも絵具を塗り重ねることで生まれる下地の深い奥行きが、画面に独特の風合いを与え、細密かつ鮮やかに描いたモチーフとの対比をより際立たせる。花の秘めたるエネルギーの盛衰の中に、宇宙、時間、命、死といった普遍的テーマを落とし込み、新たな花の概念を探求している。

Kayoko KIMURA



Catenation 2025-01

117 × 91 cm

パネルにキャンバス・油彩

Catenation 2025-01

117 × 91 cm

oil on canvas mounted on panel

トム クリストファー



1952年カリフォルニア州ハリウッドに生まれる。摩天楼、イエローキャブ、自転車メッセンジャー、そして行き交う個性豊かな人々を、ニューヨーク独特の人工と自然の光が乱反射するまばゆい煌きの中に、躍動感溢れる筆致で映し出す。写実性をベースにしながらも、少し不自然な色彩、定まらない視点、車にねじれのある動きなど、わずかなデフォルメを好んで加え、この都市が抱える不安定な緊張感を表現すると同時に、混沌に帰すことのないニューヨークの真の魅力を鮮烈に描きだしている。1995年には、ロックフェラーセンター、1998年にはタイムズスクエアに巨大壁画を制作し、2001年9.11テロ事件後には、ワールドトレードセンターを題材に描いた作品が全米に感銘を与え話題となり、作品はニューヨーク市立美術館に買い上げられている。

Tom CHRISTOPHER



Energetic Messenger

92 × 122 cm

キャンバス・アクリル

Energetic Messenger

92 × 122 cm

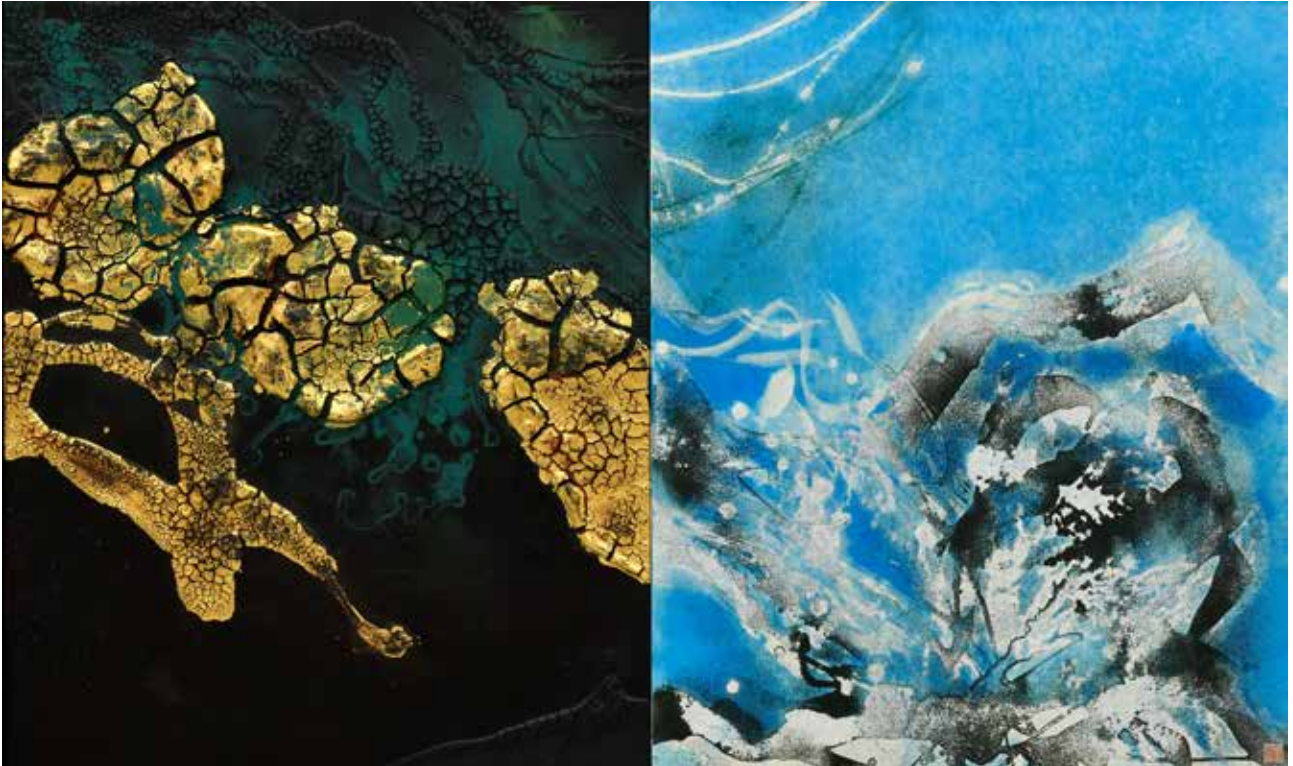
acrylic on canvas

菅原 健彦



1962 年東京都に生まれる。多摩美術大学にて日本画を専攻。1996 年山梨にて樹齢千年を超える神代桜との運命的な出会いがあり、それを機に菅原芸術の扉が開かれる。古木の幹から放たれる生々流転する生命のダイナミズムに衝撃を受け、その生命力を極めて独創性高い表現で描き続けた。淡墨桜や滝桜、臥龍の松、霧降の滝など、幅広い題材を求め、その生涯を通じ日本画の伝統に新たな息吹をもたらし、見る者の心を揺さぶる作品を数多く制作。越前の手すき和紙の裏から墨をにじませるなど日本画の伝統技法を用いながら、日本最古の墨として知られる松煙墨でひび割れを敢えて作るなど、新たな表現方法を常に探求し、壮麗な世界を築き上げた。2012 年、パリで開催された個展の成功を皮切りに、世界の舞台へと躍進。シンフォニーホールのエントランスをはじめとする世界有数のホテルや公共施設の壁面を豊かな生命の息吹で飾っている。

Takehiko SUGAWARA



臥龍の松

73 × 122 cm

麻紙・松煙、墨、岩絵具、水干絵具、
金箔

Garyū no Matsu

73 × 122 cm

shōen, sumi ink, mineral and mud pigments
and gold leaf on hemp paper

田口 涼一

1981年大阪府に生まれる。京都精華大学大学院技術研究科博士後期課程修了 博士号取得。銀箔を硫黄で硫化させる、古く江戸中期の頃より深秘である「箔焼き」という技法により、銀箔の色を変色させた焼箔を用いて作品を制作する。作家は独学で技法を試行錯誤して身につけ、現在も独自に研究を続けながら、独特な風合いや空気感を作品の中で表現している。

Ryoichi TAGUCHI



Sound of Silver - 開明 -

80 × 65 cm

雲肌麻紙・焼箔、金箔、銀箔、金泥、銀泥

Sound of Silver - Dawn -

80 × 65 cm

burned foil, gold and silver leaf, gold and silver paint on hemp paper

チェン ジャン ホン



1963年中国、天津に生まれる。難関として名高い北京中央美術学院に進学し中国伝統の水墨画を習得。1987年にはパリに移住しエコール・デ・ボザールにて油彩画を学ぶ。抽象表現へと傾注していったチェンは、東洋と西洋、伝統と革新の調和を追求し、やがて墨と油彩を自在に操る独創的な画法を確立していく。力強い筆勢の線描に、ぼかしや飛沫で描く穏やかな色調が画中に広がり、静謐ながらもエネルギッシュな生命の崇高性を優美に表現している。画業を通じ花鳥画に連なる蓮の主題を中心に描いてきたが、近年では風景など日常から着想を得た様々なイメージの作品を加え、抽象性高まる新境地を展開している。作品はインディアナ州のスナイト美術館やドーハのマトハフ・アラブ近代美術館のほか、パリや東京、上海など世界の主要都市有数のホテルやランドマークとなる建造物の壁面を飾っている。

CHEN Jiang-Hong



黎

100 × 100 cm

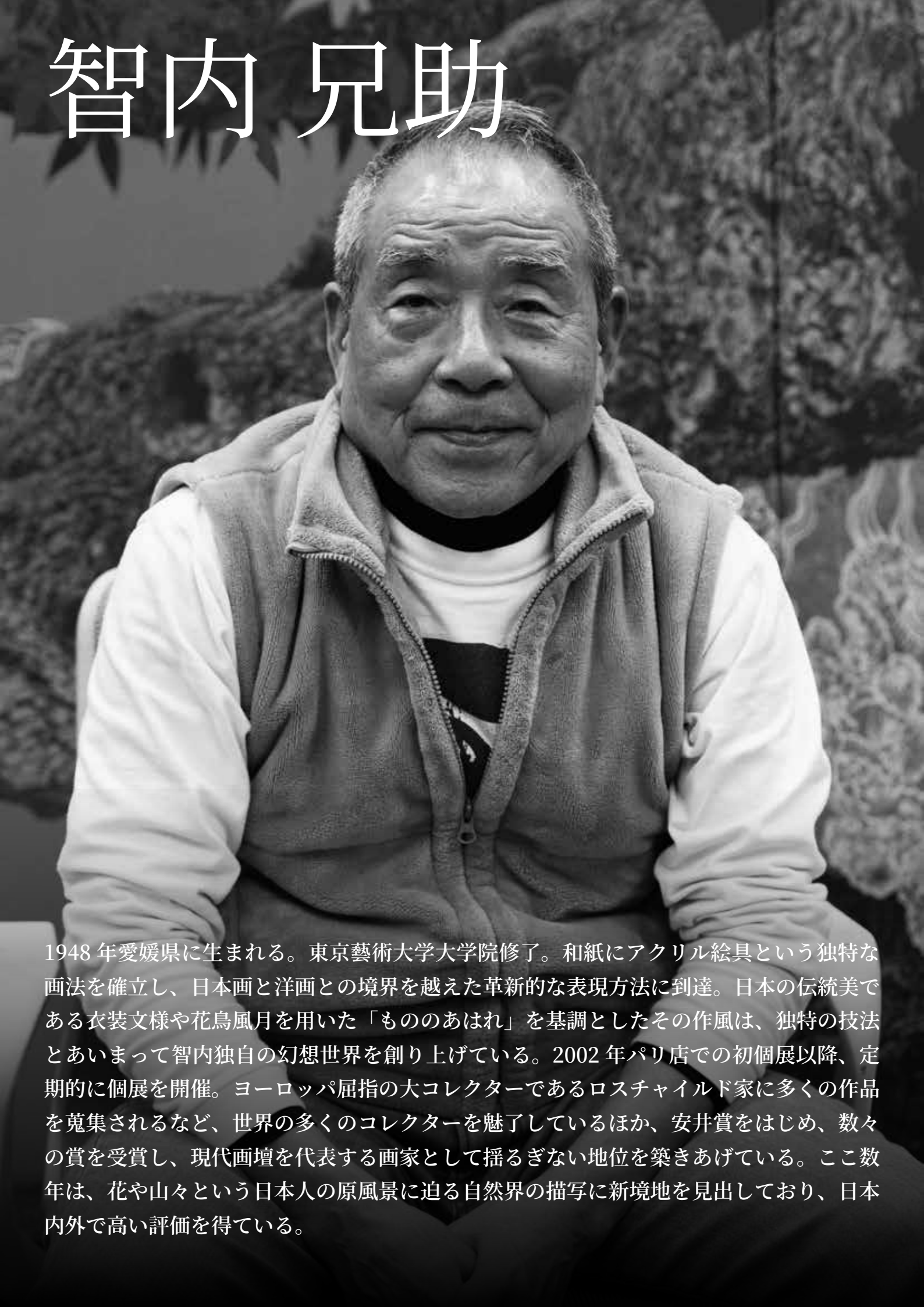
キャンバス・油彩

Rei

100 × 100 cm

oil on canvas

智内 兄助



1948年愛媛県に生まれる。東京藝術大学大学院修了。和紙にアクリル絵具という独特な画法を確立し、日本画と洋画との境界を越えた革新的な表現方法に到達。日本の伝統美である衣装文様や花鳥風月を用いた「もののあはれ」を基調としたその作風は、独特の技法とあいまって智内独自の幻想世界を創り上げている。2002年パリ店での初個展以降、定期的に個展を開催。ヨーロッパ屈指の大コレクターであるロスチャイルド家に多くの作品を蒐集されるなど、世界の多くのコレクターを魅了しているほか、安井賞をはじめ、数々の賞を受賞し、現代画壇を代表する画家として揺るぎない地位を築きあげている。ここ数年は、花や山々という日本人の原風景に迫る自然界の描写に新境地を見出しており、日本内外で高い評価を得ている。

Kyosuke TCHINAï



櫻仙境（はな せんきょう）

89 × 116 cm

パネルに和紙・アクリル

Mystic Land of Cherry Blossoms

89 × 116 cm

acrylic on japanese paper mounted on panel

中比良 真子

1979 年滋賀県に生まれる。京都精華大学大学院芸術研究科造形専攻修了。

水面に映し出された世界や身近にある風景、これまでにどこかで目にしてきたであろう風景をモチーフに、移ろいやすい一瞬の情景を油彩で描く。限られた情報のみ精密に描き、その周りは曖昧に描く。繊細かつ美しいその描写は、見る人ひとりひとりの記憶や想像によって、描かれていない部分までも広がってゆく。

Masako NAKAHIRA



The world turns over No.88

91 × 117 cm

パネルにキャンバス・油彩

The world turns over No.88

91 × 117 cm

oil on canvas mounted on panel

中村 ケンゴ



1969年大阪府に生まれる。多摩美術大学大学院修了。日本画専攻。マンガの吹き出しやキャラクターのシルエット、そしてワンルームマンションの間取り図、など、現代社会を表象するモチーフを用いたユニークな絵画を制作。近年では、ひらがなのしなやかな曲線の組み合わせによって画面を構成する「ひらがな ペいんていんぐ」シリーズを制作している。技術的には、粗い岩絵具を細かい岩絵具と混ぜ合わせる日本画の技法で制作する。何層にも丁寧に塗り重ねられた画面は光に反射すると、他の画材では実現できない実に豊かな表情が現れ、独創的な世界観を展開させる。

Kengo NAKAMURA



君みたいにきれいな女の子

Such a beautiful girl like you

100 × 80 cm

100 × 80 cm

パネルに和紙・岩絵具、顔料、アクリル、
樹脂膠

mineral pigments, pigments, acrylic and resin
glue on japanese paper mounted on panel

藤原 由葵



1978 年静岡県に生まれる。東京藝術大学大学院博士後期課程絵画専攻油画研究領域修了。卓越した技術力が生む精緻な描写をベースに、サルバドール・ダリに代表されるシュルリアリズム様式に連なる作品を制作。可憐な花々や愛らしい動物が、異次元から現実世界に飛びだしてくるような情景を好んで描く。生あるものの秘めたるエネルギーを表現しているのであろう。パステルトーンが彩る動物たちの細やかな仕草や表情は愛らしく、穏やかなながらも躍動感ある不可思議な超常空間を創りあげている。

Yuki FUJIWARA



賢い人間

97 × 130 cm

キャンバス・油彩

The Wise Humans

97 × 130 cm

oil on canvas

ロレンツォ フェルナンデス



1970年スペイン、マドリッドに生まれる。14歳よりスペインの伝統的なバロック絵画を学び、1993年にはコンセプチュアル・アートの第一人者であるペドロ・カルヴァンに師事する。精緻な筆致が繰り出す作品は、非現実的な焦点のぼかしや、複数の視点から眺めたモチーフを組み合わせて描くなどの技巧を取り入れ、絵画ならではの創意に富むリアリズムを確立させている。綿密に練られた構成の中に、子供の頃の遊び道具や金属製の容器、モノクロ写真、そして薔薇のつぼみなど、画家が愛する数々のモチーフが語らいあうように配置される。時には視線に止まらないほど小さな自分の姿を描くなど、遊び心も垣間見せる。純粋な心を映し出す透明感あふれる画面は、見るものを魅了し崇高な精神世界へと導いていく。2006年パリの初個展以降グローバルな活躍目覚ましく、その実力に世界の注目が集まっている。

Lorenzo FERNÁNDEZ



鼠と折り鶴

70 × 50 cm

アルミ板・油彩、アクリル

Rata y gruya

70 × 50 cm

oil and acrylic on aluminum

村本 真吾



1970年石川県に生まれる。東京藝術大学大学院工芸科漆芸専攻修了。奈良時代より伝えられる脱活乾漆技法という仏像制作の技法に精通。その技法と竹・漆の素材が相まって、艶やかな表面、美しい形状そして宙を浮遊するかのような軽やかさが作品に融合される。竹をしならせながら布を張り、成形し、漆を施すと、偶然と必然が調和し美しい曲面が生まれる。幾重にも塗り重ねた漆は磨かれるほどに艶やかで瑞々しい光沢を放ち、豊かな表情が生まれる。枝葉などの自然界の姿に触発された造形を旨とし、自然と人間の共存・共生の表現を探求している。

Shingo MURAMOTO



枝羽—佇む—

W53 × H 45 × D 51 cm

漆、竹、麻布、和紙、ナイロン布、炭粉

Wings of Foliage - standing still -

W53 × H 45 × D 51 cm

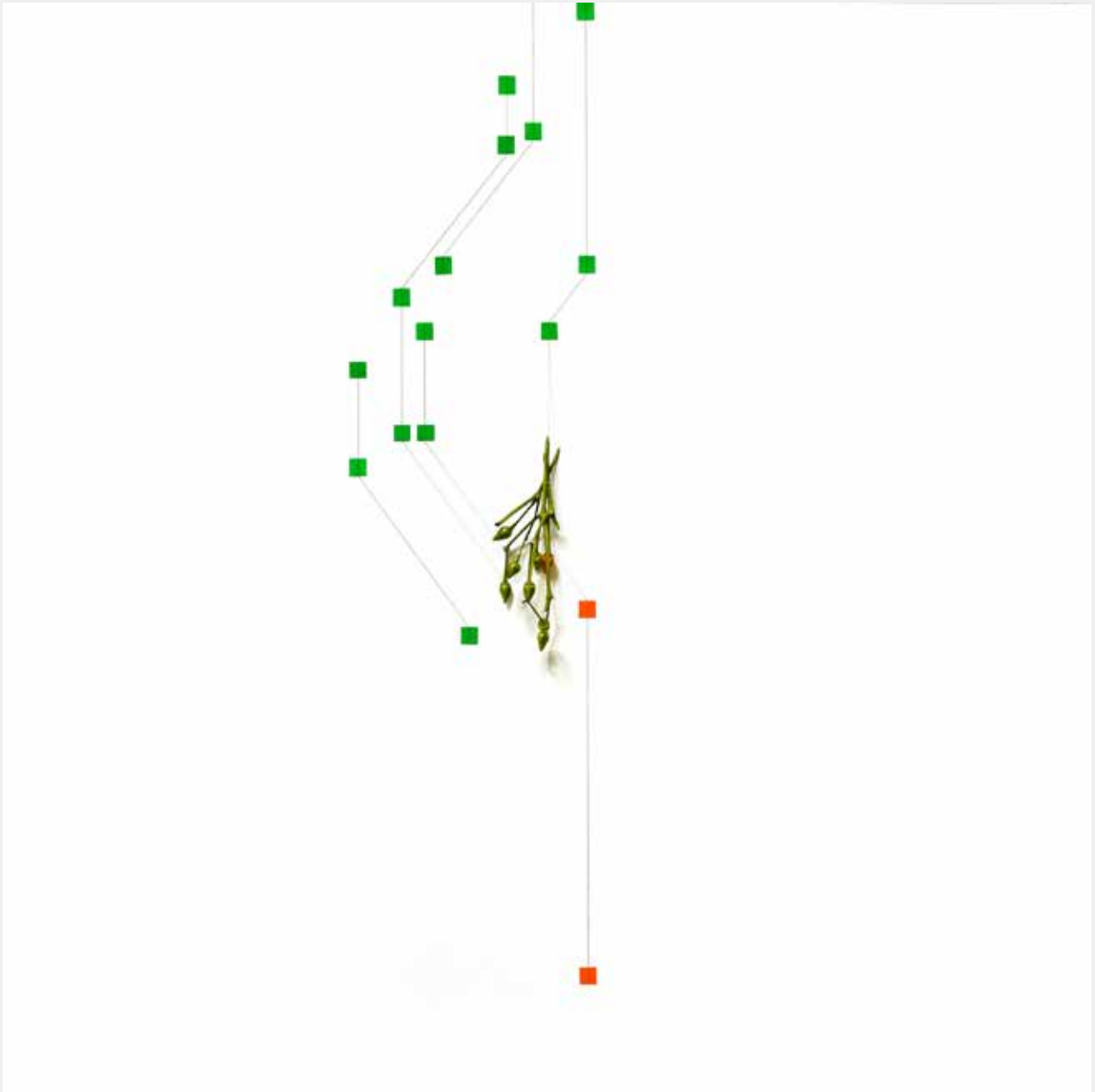
lacquer, bamboo, linen, japanese paper, nylon cloth, charcoal

山本 大也



1986 年奈良県に生まれる。広島市立大学芸術学部油絵専攻。トロンプ・ルイユと呼ばれる西洋の伝統的な技法に日本人としての美意識を取り入れて制作。作品はモチーフが実際にそこに存在するかのような不思議な錯覚を鑑賞者に抱かせる。この技法では多くのモチーフを描き華やかな画面にするのが主流だが、山本は独自の視点で厳選したモチーフを、極力数を減らし十分な余白を持たせてリズムのある配置をしてミニマムに画面を構成する。細い糸や小さな釘といった線や点、あるいはマスキングテープなどの要素も描き入れ、画面に秩序をもたらし安定感を与える。現代という時をテーマに、新たな画風を確立させ、更なる可能性を探求している。

Daiya YAMAMOTO



トウガラシ色彩形態装甲図

100 × 100 cm

キャンバス・油彩、鉛筆、顔料、ジェル
メディウム

Chilli Pepper - Colour Armour

100 × 100 cm

oil, pencil, pigments and gel medium on
canvas

吉川 民仁



1965年千葉県に生まれる。武蔵野美術大学にて学ぶ。学内の風潮は具象絵画が中心であったが、吉川はやがて抽象絵画へと進んでいく。四季折々に変化する自然、ことに風や光の様相に触発され吉川は制作し、自身の眼差しを画面に注ぎこみ詩情豊かな絵画空間を創りだしている。左官ごてを用いて絵具を伸ばし、色を重ねたキャンバスをひっかき、削る。あるいは、ペインティング・ナイフに少量の絵具をとり画面に投げ付け、鮮やかな絵具をキャンバスに点在させるなど、画家の豊かな感性が生み出す様々な描線や深みのある色調が見るものを惹きつける。2016年、ギャラリーためながフランスで開催した展覧会で高い評価を得る。現在、日本内外からその活躍に期待が寄せられる注目の画家である。

Tamihito YOSHIKAWA



始まりの時

61 × 61 cm

キャンバス・油彩

The Beginning

61 × 61 cm

oil on canvas

 ギャラリー ためなが

〒 107-0062 東京都港区南青山 6-5-39

(0 3) 3 5 7 3 - 5 3 6 8

<https://www.tamenaga.com>